

さあ、あなたも一緒に、

笑顔あふれる新潟をつくりましょう。

新潟市政の新たなステージへ

人口減少社会に真っ向、挑戦！

新潟の  
明るく未来を  
切りひらく！





# 中原八一の 「覚悟」

**私、中原八一は人口減少社会に真っ向、挑戦する覚悟です。**

新潟市の人口は約 20 年前の合併時からすでに 5 万人減少しています。出生数は 10 年間で 3 割以上も減り、危機的な状況です。さらに若者も 1 年で千人以上が県外に出ていってしまっており、特に女性の転出が目立っています。

人口減少による影響は経済や社会の活力を低下させるだけでなく、実に幅広い分野におよびます。そのため、若者や女性が夢や希望をもてるまちをつくり、子ども子育て支援をより一層充実させていく必要があります。

＊

その上、今後人口減少は加速していきます。10 年後には約 5 万 3 千人が減り、25 年後には約 15 万人減少すると、衝撃的な予測が出ています。

この現実に対し、将来世代に向けた大胆な投資や、住民の移動手段、住環境などを人口減少に対応させるまちづくりを加速させなければ、将来、新潟市の活力は低下し、私たちの生活は立ち行かなくなるでしょう。

人口減少が進んでも、将来にわたって市民の暮らしや地域の活力を保ち、さらに向上できるよう、これまでの考え方にとらわれず果敢に取り組まなければなりません。

新潟市は今、明るい未来を切りひらくための分岐点に立っているのです。

**人口減少社会でもさらに「輝きを増す」新潟の実現に向けて  
私、中原八一は全力で挑戦します！**

# 人口減少社会のまちづくりへの挑戦

## 3つの柱と10の約束

人口減少が予測を上回るペースで進んでいます。このままでは人口減少によって地域活力は低下し、地域経済も縮小してしまいます。新潟市の最重要課題として人口減少対策に取り組み、市民の暮らし、地域のコミュニティ、新潟の経済を守り抜きます。

今後の人口減少によって新潟市で起きる課題を予測し、人口減少による影響に的確に対応するまちづくりに挑戦し、新潟の明るい未来を切りひらいていきます！

### 柱1

「若者や女性を応援し夢や希望をもてるまち」の実現に全力！

- 〈約束1〉多くのヒトやモノ、情報が集まる活力と魅力あるまちづくりを進めます
- 〈約束2〉新しい時代の産業を新潟から生み出し、若者や女性の働く場を増やすまちづくりを進めます
- 〈約束3〉新潟の強みと特色を生かして、攻めの観光で賑わいと出会いのあるまちづくりを進めます
- 〈約束4〉新潟の強み「食と農」の支援を強化し、新潟からおいしい農産物をもっと全国へPRするまちづくりを進めます

### 柱2

「みんなで支える子育てのまち」「子どもの豊かな学びを支えるまち」の実現に全力！

- 〈約束5〉みんなで支える子育てのまちづくりを進めます
- 〈約束6〉子どもの豊かな学びを支えるまちづくりを進めます

### 柱3

「誰もがいきいきと安心して暮らせ、誇りがもてるまち」の実現に全力！

- 〈約束7〉官民連携でつくる支えあい、助け合うまちづくりを進めます
- 〈約束8〉豊かな文化・スポーツの力で活力を生み出すまち、多様な価値観を認め個性を伸ばすまちづくりを進めます
- 〈約束9〉あらゆる災害や危機に備え日常の暮らしを守るため安心安全なまちづくりを進めます

### 3つの柱の土台

- 〈約束10〉市民・地域の課題解決力を高めるための市役所・区役所改革を進めます

# 「若者や女性を応援し夢や希望をもてるまち」 の実現に全力！

若者や女性が夢や希望をもてるよう、新潟の明るい将来に向け大胆に取り組みます。

アリーナを新設するとともに、生み出される活力を白山エリアからまちなかに波及させ、活力と魅力あるまちづくりを進めます。若者や女性の起業・創業などのチャレンジを全力で応援し「新たにビジネスするなら新潟」という環境をつくります。

食などの新潟の強みと、みなとまち文化や各地域の特色を最大限生かして交流人口と関係人口の拡大を図ります。

約束

1



## 多くのヒトやモノ、情報が集まる活力と魅力ある まちづくりを進めます

新潟駅万代広場の完成を契機に鳥屋野潟南部開発の進展などを見据え、駅南北が一体化したまちづくりを進めます。アリーナを新設するとともに、生み出される活力を白山エリアからまちなかに波及させ、多くのヒトやモノ、情報が集まる活力と魅力あるまちづくりを進めます。

- 新潟駅、万代、古町までの都心エリア「にいがた2キロ」に加えて、都心軸を鳥屋野潟南部周辺まで伸ばすことで、活力と魅力あるまちづくりを進めます。そのため、新潟駅南エリアの新たなビジョンを策定します。
- アリーナを新設するとともに、生み出される活力を白山エリアからまちなかに波及させ、若者や女性が夢や希望をもてるまちづくりを進めます。そのためのビジョンを策定します。
- 旧西堀ローサの利活用に向けて文化や都市の防災などの観点から検討し、将来負担も考慮し利活用方針を決定します。
- 国や県と連携し市内各地域間の交流・連携軸となる新潟中央環状道路をはじめ、万代島ルート線、新潟西道路などの整備促進を図り交通ネットワークを強化するとともに、バスタ新潟の整備、新潟港、新潟空港の機能強化に取り組みます。
- 若者の夢と希望がかなうまちとなるよう、中高生との対話などにより若者の意見を聴き、まちづくりに反映させる新たな委員会を設置します。
- 8区のまちづくりに都市デザイン・まちづくりデザインの視点から市内各区の特色を生かした「8つのカラーで成長し続けるまちづくり」を行います。

## 約束 2

# 新しい時代の産業を新潟から生み出し、 若者や女性の働く場を増やすまちづくりを進めます

アニメーション分野やフードテック分野など新しい時代の産業を新潟から生み出し、企業誘致などにつなげることで、若者や女性の働く場を増やします。また、起業や創業などのチャレンジを全力で応援し「新たにビジネスするなら新潟」という環境をつくります。

- 国の地域未来戦略のアニメーション分野における地域産業クラスター計画認定を契機に、産学官が連携しアニメーション関連企業の誘致や、若者や女性の人材育成などにより、アニメーション産業の拠点として発展を目指します。
- 新潟市の強みである「食と農」を生かし食の新たな価値の創出や食関連企業の誘致、集積につなげるなど、フードテック分野の拠点形成を目指し産学官が連携して取り組みます。
- 「にいがた 2km おいしさ DX」プロジェクトを推進し、「おいしさの見える化」を図ることで、食関連産業の高付加価値化など「食と農でもっと稼げる都市」を目指します。
- 起業・創業などの新たなチャレンジを全力で応援し市内の産業基盤を強くします。また、市内企業の AI 導入などの DX や GX などの取り組みを強力に支援します。
- 高い専門性を持つ県外の副業人材を市内企業が活用できる環境を整え、市内中小企業の経営課題の解決と活性化につなげます。
- 次世代エネルギーとして期待されるペロブスカイトなどの次世代高性能太陽電池の産業化の実現に向けて産学官が連携して取り組みます。
- にいがた 2 キロエリアの企業誘致を進めるとともに、市内に製造業、物流業などの用地需要に応えるための新たな工業団地を整備し雇用を増やします。
- 性別や年齢、ライフスタイルをはじめ、障がいの有無や国籍など、個々の事情に応じた多様性のある雇用創出に向けて、企業の職場環境の向上を支援します。



にいがたまちあそび学校「KAIKOU!」



にいがた 2km の起点 新潟駅

### 約束 3

## 新潟の強みと特色を生かして、攻めの観光で賑わいと出会いのあるまちづくりを進めます

MICE 誘致を強化し賑わいと出会いのあるまちづくりを進めます。新潟市の文化や食、産業、自然、街並みなどの特色を生かすとともに、観光客のニーズを的確に捉え、テーマ性を持った観光コンテンツの構築や多言語対応などの環境整備に官民連携で取り組むことで交流人口、関係人口の一層の拡大を図ります。

- 国際会議や大規模イベントなど MICE 誘致を強化するとともに、にいがた酒の陣や新潟シティマラソン、地元プロスポーツチームの試合などにより、賑わいと出会いのあるまちづくりを進め、交流人口と関係人口の拡大、経済活性化につなげます。また、新潟のブランド化を図ります。
- 「みなとまち新潟」、「鉄道のまち新津」をはじめ市内各地域の歴史、文化や食、日本酒、産業、自然、街並みなど新潟の強みや特色を十分活用し観光を力強く振興します。また、県内自治体や近隣県の自治体と広域的に連携して誘客を促進します。
- 国内外から新潟を訪れる方々が安心して新潟を楽しめるよう、多言語対応、おもてなし体制などの「国際化・ユニバーサル化」に向けた幅広い環境整備を進めます。
- インバウンド(外国人観光客)の増加に向けて航空路線の活用やクルーズ船のさらなる誘致を行います。
- 交流人口から関係人口につなげていくために農業体験、郷土食づくりなどを通して、地域との関係を深める「新潟ならではの体験」を積極的に発信・PRし、観光に生かします。
- 観光戦略プランを策定し攻めの観光を展開するとともに、観光を一層充実させるため宿泊税の導入を検討します。



にいがた酒の陣



ASPAC 新潟大会

## 約束 4

# 新潟の強み「食と農」の支援を強化し、新潟からおいしい農産物をもっと全国へPRするまちづくりを進めます

農業者が安定して稲作を続けるため、国に対し適正な米の価格形成と農業者を支える仕組みを要望します。おいしい米づくりに園芸を加える園芸複合化の推進により「もうかる農業」の実現を目指します。また、新潟のおいしい米、野菜、果物など農産物をもっと全国にPRするまちづくりを進めます。

高齢化が進む農業の新たな担い手育成や農村集落の維持発展に向けた環境づくりに全力をあげて取り組みます。

- 新潟の稲作経営を安定化させるため、主食用米に加え米粉用米や加工用米などの米作りを手厚く支援します。農業者が減少するなか、国・県と連携し、ほ場整備を促進し農地の大区画化や水田の汎用化を推進します。
- 「もうかる農業」を実現するため、おいしい米づくりに加え園芸品目などの高収益作物の導入を支援し園芸複合化を進めます。また、環境保全型農業の推進により、農産品のブランド化を進め販売促進につなげるなど農業所得の向上を図ります。
- おいしい市産農産物を全国に積極的にPRするとともに、枝豆、柿、ルレクチエなどのトップセールスを強化します。
- 海外への市産農産品の輸出を増やすため、販路開拓・拡大を目指す市内農業生産法人などを支援します。
- 意欲ある新たな担い手を育成するためアグリパークなどに研修機能を持たせ、新規就農者の確保育成につなげます。また、農業法人の経営安定化に向けて、農業をビジネスとして捉えきめ細かに支援します。
- フードテック分野の拠点形成を目指し取り組むことで、食品関連産業との連携による市内農産品の消費拡大、スマート農業の推進による生産性向上などにつなげます。
- 農村集落の活性化に資する土地利用などを柔軟に行えるよう、既存制度の活用・充実や国家戦略特区などを十分活用し積極的に取り組みます。



枝豆トップセールス



ブランドいちじく「越の雫」園場

# 「みんなで支える子育てのまち」・ 「子どもの豊かな学びを支えるまち」 の実現に全力！

新潟市で生まれる子どもの数は全国と同様、10年前と比較して3割以上も減少しており、少子化対策は喫緊の課題です。結婚や子どもを産み育てたいと願う人たちの希望がかなうよう、結婚、妊娠、出産をしやすい環境を整えることが重要です。同時にこれまで以上に子どもや子育て家庭に寄り添うとともに、地域や民間事業者、社会全体で子育て支援に取り組みます。

約束

5



## みんなで支える子育てのまちづくりを進めます

若者の出会いの場の創出や結婚後の新生活を一層支援するほか、希望する人が安心して出産、子育てができるよう、精神的・経済的負担のさらなる軽減策に取り組みます。また、子育て家庭が必要なサポートが的確に受けられるよう子育て支援策に切れ目なく取り組むとともに、地域や企業において子育て家庭を応援する気運の醸成を図るなど、みんなで支える子育てのまちを目指します。

- 性別を問わず適切な時期に妊娠・出産を含めた将来設計などを行う「プレコンセプションケア」を推進します。
- 若者の出会いの場をより多くつくることや新たに結婚した人たちの新生活を一層支援します。
- 希望する人が安心して妊娠、出産、子育てができるよう精神的・経済的な負担軽減に向け、産前産後にオンラインで専門家に相談できる体制を整えます。また、産後ケアの対象に「里帰り出産」を加えます。さらに、こども医療費助成入院分の自己負担を撤廃します。
- 子どもの多様な居場所づくりに向け、出張児童館の拡充や、公共施設などを有効活用し、遊び場や学習スペースを生み出すとともに、子ども食堂など地域主体の居場所の創出・運営を支援します。
- 「小1の壁」解消に向け、放課後児童クラブの預かり時間延長などを実施するとともに、放課後児童クラブの環境を充実させます。
- 子どもがすこやかに成長できる家庭環境を整えるため、市のこども未来部、福祉部、経済部と教育委員会が一体となり、子育て支援策に切れ目なく取り組みます。
- 障がい児（者）福祉の充実に向け、障がい児（者）やその家族に対し、保健、福祉、子育て、教育など、切れ目ない一貫した支援を行います。
- 男女が共に子育てができるよう、性別による役割分担意識の解消や企業におけるテレワーク・時差出勤などの柔軟な勤務形態の導入を推進します。



## 子どもの豊かな学びを支えるまちづくりを進めます

子どもたちのより良い教育環境を整えるため、小中学校等の体育館の空調整備を進めるとともに、中学校部活動の地域展開を支援し、スポーツ、文化芸術活動の確保を図ります。

フードバンク支援などにより子どもの貧困対策を推進させるとともに、不登校など子どもの状況に合わせた学びの多様化に向け取り組みます。

- 子どもの状況に合わせた学びの多様化に向け、発達障がいや不登校などの相談ができる教育相談室をすべての区に配置するとともに、学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）や特別支援学校の新設を目指します。
- 少子化社会においても子どもたちのより良い教育環境を確保するため、学校統廃合の議論をきっかけとして、「小中一貫校」の設置などを検討します。
- 猛暑から子どもたちの健康を守り教育環境を向上させるため、小中学校等の体育館の空調整備を進めます。
- 中学校部活動の地域展開を支援し、子どもたちのスポーツや文化芸術活動機会の確保・充実を図ります。
- 犯罪や事故から子どもを守るため、防犯・交通安全教育を徹底するとともに、地域の防犯・交通安全活動への支援を強化します。
- 子どもの貧困対策に向け、フードバンクや学習支援ボランティアを支援します。
- グローバル化した社会で多様な人々とコミュニケーションを図り協働し課題を解決するための資質と能力を育むため、英語教育を充実させます。



中学校全員給食スタート

# 「誰もがいきいきと安心して暮らせ、誇りがもてるまち」の実現に全力！

人口減少によって、買い物や医療など暮らしに支障が生じ始めています。この課題を直視し、人口減少が進んでも官民連携で支えあい、助け合うまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる地域をつくりまします。また、多様な価値観を認め個性を伸ばすまちを目指します。暮らしの土台となる安心安全の確保に取り組み、市民の皆さんの「安心安全な日常」を守り抜きます。

## 約束

## 7



## 官民連携でつくる支えあい、助け合うまちづくりを進めます

高齢の方や障がいのある方など、誰もが安心して暮らせるよう支えあい、助け合うまちづくりを進めます。また、人口減少によって影響が生じている自治会やコミュニティ協議会の活動を支援します。少子高齢化、人口減少社会においても各地区の拠点機能や住環境の維持向上につながる土地利用が図られるよう対応し、それぞれの地域でいきいきと安心して暮らせるまちを実現します。

- 高齢者が健康寿命を延ばし、いきいきとした生活を送るためフレイル（加齢による心身の虚弱）予防を一層推進します。また、高齢者向けワクチン予防接種助成のさらなる充実を図ります。
- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、保健・介護・福祉サービスをにぎう専門職の連携強化により地域医療の質的向上を図るとともに、救急・在宅・災害時における安定した医療提供体制の構築に取り組みます。
- 歯と口の健康は全身の健康づくりの源です。健康寿命の延伸、健康格差の縮小、心身ともに健やかで質の高い生活を実現するため、生涯を通じた歯科保健をより一層推進します。
- 通院が困難な地域に対する遠隔医療の実現に向け、医療機関などと連携して取り組みます。
- 買い物困難地域の解消に向け、コンビニやスーパーなど民間事業者と連携し、公共施設などを活用した移動市や移動販売車などの取り組みを支援します。
- 公共施設再編を推進するとともに地域の活力向上にもつなげるため、旧施設の活用を望む地域に対し状況に応じてしっかりと対応します。
- 住民の移動手段確保が困難な地域に対し、地域のニーズを踏まえた地域主体の新たな生活交通の導入、運営を支援します。
- 伝統文化の継承と地域の絆を強くするお祭りなどの活動が困難な地域への支援を充実させます。
- 各地域の活力やコミュニティの維持・向上などに役立つ土地利用が図られるよう、市街化調整区域の課題解決に向けてより一層取り組みます。

## 豊かな文化・スポーツの力で活力を生み出すまち、 多様な価値観を認め個性を伸ばすまちづくりを進めます

歴史ある古町芸妓の舞踊、にいがた総おどりなどの「踊り文化」やマンガ・アニメ文化を生かすとともに、競技スポーツと生涯スポーツなどにより活力あるまちづくりを進めます。また、年齢や性別、国籍や障がいの有無などに関わらず誰もが個性と能力を発揮できるまちをつくります。

みなとまち文化や鉄道のまちなど、各区の歴史や文化、産業などの特色を、誰もが「新潟市の特色、新潟市に暮らす誇り」として感じられるまちを目指します。

- レジデンシャル制度による「踊り文化」やマンガ・アニメ文化、生涯スポーツなど文化やスポーツを通して市民が心豊かで健康に暮らせるまちづくりを進めます。
- 新潟の財産であるプロスポーツチームなどへの支援・連携を行うことで、プロスポーツチームなどがもつ強力な発信力と求心力をまちづくりに生かします。
- 白山エリアにおけるアリーナ新設や陸上競技場の改修などに取り組むとともに、被災した鳥屋野野球場の建て替えを着実に進めます。
- 性別による役割分担意識の解消などに取り組み、女性が自らの個性と能力を発揮し活躍できるまちを目指します。
- 国籍などに関わらず、誰もが地域・社会で活躍できる「多文化共生社会」の実現に向け、市役所が先頭に立って取り組みます。
- 新潟の豊かな環境を守るため、温室効果ガス削減に市役所が率先して取り組むとともに、市民、地域企業の省エネ対策や再生可能エネルギーの導入を支援し「新潟市地球温暖化対策実行計画」の目標達成を目指します。
- 国内初となるラムサール条約「世界湿地都市ネットワーク市長会議」の開催を契機として、新潟が誇る潟や田園などの豊かな水辺や自然環境を将来に引き継ぐため、潟の保全活動の推進や情報発信によるシビックプライドの醸成を図ります。



ラムサール条約湿地「佐潟」



2025 世界湿地都市ネットワーク市長会議（ハンガリー・タタ）

## 約束 9

# あらゆる災害や危機に備え日常の暮らしを守るため 安心安全なまちづくりを進めます

能登半島地震からの復旧・復興を着実に進めるとともに、地震や大雨・大雪などの災害にしっかりと備え、安心安全なまちづくりを進めることで、市民の日常の暮らしを守ります。

- 防災首都・救援拠点としての役割を果たすため、国が検討している防災庁の地方機関や防災大学校等の誘致を目指します。また、国と連携して地下シェルターの確保に向け検討を進めます。
- 能登半島地震で被災した道路や下水道などのインフラ復旧を早期に進めるとともに、被災した坂井輪中学校の新校舎完成に向け一日も早く安心して学べるよう整備を進めます。
- 街区単位の液状化対策事業を推進するとともに、実施にあたり住民負担軽減を含む事業要件を見直します。
- 過去の地震などでの経験を生かし、地域や学校、職場など様々な場面での自助・共助の防災意識と防災力を高める取り組みを官民が連携して進めます。
- 大雨による浸水被害の軽減に向け、緊急度が高い地区の雨水管やポンプ場整備を推進します。また、民間の力を借りながら、身近な場所で避難できる津波避難ビルなどの避難場所を増やします。
- 降雪時の安全性を高めるため、過去の経験を踏まえながら災害級の大雪にも対応できる除雪体制のさらなる強化を図ります。
- 柏崎・刈羽原発は市民の安心・安全を最優先に東京電力への監視・監督や避難計画の実行性の確保、原子力防災に関する丁寧な情報発信などについて、引き続き国や県などに対し強く求めていきます。
- 北朝鮮による横田めぐみさんをはじめとする拉致問題と大澤孝司さんをはじめとする特定失踪者問題の一日も早い解決と拉致被害者全員の帰国の実現に向け、県や市町村と連携しながら国に強く働きかけるとともに、市民への積極的な啓発活動に粘り強く取り組みます。



防災担当大臣市内被災地視察



市役所ラッピングシートによる拉致問題啓発

### 約束 10

### 市民・地域の課題解決力を高めるための 市役所・区役所改革を進めます

人口減少によって市民生活や地域に起こる様々な課題を認識したうえで、人口減少が進んでも安心して生活し続けられるよう、市民目線に立ち従来の市役所の考え方にとらわれず積極的にまちづくりに取り組む市役所・区役所に改革します。

- 人口減少によって市民生活や地域に起こる様々な課題に対応できる市役所・区役所改革を進めます。
- 本庁に地域振興を一層図るための組織を新設し、地域の活力創出に向け対応力を強化します。
- 多様化・複雑化する地域課題に対し区役所のコーディネート（課題解決に向けた調整）機能を強化します。
- 地域の特色を生かし活力と魅力あふれるまちづくりを進めるため、当面は現行の8区体制を維持します。
- 将来の課題や社会の変革を見据え、市役所と区役所の組織の役割分担や区役所業務のあり方を総点検し、より実行性の高い組織に改革します。特に、重要課題にあたっては組織横断のプロジェクトチームを編成し課題解決力を高めます。
- AIなどデジタル技術を活用し「書かない窓口」「待たない窓口」「迷わない窓口」「行かない窓口」など、利便性の高い「窓口改革」に取り組みます。
- 市政運営の基盤となる行財政改革に取り組むとともに、市役所のDX推進により業務の効率化を進めます。



新潟市役所



**あなたも地域も。みんな笑顔に**



**中原八一事務所**

〒950-2112 新潟市西区内野町1333

**TEL.025-263-1033** FAX.025-263-1185

mail:nakahara@yaichi.jp